

地域別アクションプログラム
(高島土木事務所)

第3回 地域ワーキング



令和4年11月1日(火)

高島土木事務所

説明内容

1. 地域ワーキングの趣旨と内容

(第3回地域ワーキングの内容、客観的評価マニュアルの概要)

2. 「地域の声」のとりまとめ結果

(第2回地域WG提示済みの「地域の声(案)」、「地域の声(案)」への意見整理、
「地域の声」とりまとめ結果)

3. 「地域の重点項目」のとりまとめ結果

(第2回地域WG提示済みの「地域の重点項目(案)」、
「地域の重点項目(案)」への意見整理、「地域の重点項目」とりまとめ結果)

4. 地域の課題を解決する事業中箇所

5. まとめ

6. 次回の地域ワーキング

1. 地域ワーキングの趣旨と内容

1.1 地域ワーキングの役割

地域
WG

地域における道路に関する意見徴収



地域の声として整理



地域の声のうち、
特に重要な内容を

地域の重点項目として設定

1.2 第2回地域ワーキングの内容

地域ワーキング(WG)	主なWGの内容
第1回地域WG 令和4年8月1日開催	各委員から管内道路の課題等に関する意見をいただく
第2回地域WG 令和4年9月16日開催	第1回WGで出た意見をもとに、「地域の声(案)」、客観的評価マニュアルの「地域の重点項目(案)」を作成・提示し、各委員から意見をいただく
今回 第3回地域WG 令和4年11月1日開催	第2回WGで出た意見をもとに、「地域の声」や「地域の重点項目」を報告するとともに、地域の課題を解決する事業中箇所を紹介
第4回地域WG 令和4年12月予定	アクションプログラム2023(案)の報告

※「地域の声」：地域ワーキングで伺った意見をもとにまとめる、地域課題やその課題を踏まえた今後の道路整備についての意見。

1.3 客観的評価マニュアルの概要

拠点間ネットワーク整備

(現道拡幅、バイパス整備、交通結節点整備、交差点改良事業を想定)

I.取組の柱の実現

II.その他評価項目

III.費用便益比

地域の重点項目
から設定

IV.地域特性

拠点内道路空間整備

(歩道整備、自転車道整備、道路空間再配分を想定)

I.取組の柱の実現

II.その他評価項目

地域の重点項目
から設定

III.地域特性

最大2点の加点

事業の
1次評価

ランク I
(6点以上)

ランク II
(6～3点)

ランク III
(3点未満)

地域特性に与えられた最大2点は、事業の1次評価結果に大きな影響を与える加点要素

ランクA【重点化事業】：原則、10箇年間に重点的に整備する事業

ランクB【推進検討事業】：事業の推進を検討する事業

ランクC【当面保留事業】：現計画のままでは10箇年間に事業化しない事業

2. 「地域の声」のとりまとめ結果

2.1 「地域の声」のとりまとめ方針

● 地域ワーキングの意見を反映

第1回地域ワーキングで頂いた意見を基本に、県民アンケート、市町からの意見を踏まえてとりまとめる。

● わかりやすく簡潔にとりまとめ

広く住民に理解していただくため、わかりやすい文章で簡潔に整理する。

● パンフレットで周知

今後作成、配布するアクションプログラム2023のパンフレットに、意見を掲載し、広く地域内（県内）に周知する。

2.2 「地域の声」(案)

高島地域アクションプログラム 地域の声(案)

第2回ワーキング提示済み(案)

1. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり
2. 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築
3. 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保
4. 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

2.3 「地域の声」(案)へのご意見

高島地域アクションプログラム 地域の声(案)

1. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

- ・メタセコイア並木などへの観光客で渋滞が発生。通勤で利用する人もいる。もう1本しっかりした、道路を確保してほしい。
- ・(地域の活力を高めるため)北陸地方と接続する道路が必要。

2. 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

- ・南方面には国道161号のみ。高島市で災害が発生すると、国道161号に集中し、大渋滞で避難への支障が懸念。国道161号以外の道路整備が必要。
- ・緊急時の救急搬送は高島市民病院に集中、緊急車両が円滑に通れる道路が必要。
- ・緊急輸送道路の確保が一番大事。県と市の連携もお願いしたい。

2.3 「地域の声」(案)へのご意見

高島地域アクションプログラム 地域の声(案)

3. 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

- ・ まちが形成されてから道路ができるのと曲がりくねったり細くなったりして危険
- ・ 湖周道路で草が繁茂して見えづらく危険。適切な維持管理による歩道確保が必要
- ・ 冬季の通学路の歩道への除雪が課題

4. 住民が主体となった行政と連携・協働 による道づくり

- ・ 道路へ愛着を持てるような施策、PRが必要
- ・ 道路の草の繁茂やゴミなどが目に付く。何か方策ができればよい。

2.4 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

第2回ワーキングのご意見を踏まえたとりまとめ結果

1. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり
2. 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築
3. 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保
4. 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

2.4 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

高島地域は、北は北陸、福井嶺南地域、南は大津地域と結ばれる交通の要衝です。

また、白鬚神社やメタセコイア並木道などの文化・自然資源も多く点在し、観光エリアとして賑わいを見せています。

近年では、「一般県道五番領安井川線」の新常安橋が開通（令和3年4月）したほか、今後も「国道161号小松拡幅」の大津市北小松地区が令和7年度に供用予定、また「国道161号安曇川立体」についても早期供用に向けて事業が進められているなど、道路を取り巻く環境にも変化がみられています。

しかし、幹線道路は山間部などの狭隘な区間を通過している区間も多く、災害時に代替路線として機能する道路網が確保できていない状態です。そのため、災害により通行規制が発生した場合、地域自体の孤立化や集落の孤立化が懸念されるなど、避難・支援・復旧ルートの確保が大きな課題の一つとなっています。

また、人口減少と高齢化が急速に進んでいる本地域においては、道路整備の推進により更なる観光・交流人口の拡大や若者の定住促進といった地域活性化の推進が必要です。さらに、高齢者や障害者、子ども、観光客に配慮した安心して移動できる歩行空間の確保、豪雪地帯であるという地域特性を踏まえた冬期の安全確保、適切で無駄のない計画的な道路の維持管理が必要です。

今回のアクションプログラムの見直しにあたり、令和4年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

2.4 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

1. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

地域の交流人口の拡大を促し、観光振興の推進、経済活動の活性化、若者の定住等を促す道路整備の積極的な取り組みが重要です。具体的には、限られた路線に集中する交通の渋滞対策や、生活交通と通過交通の分離、福井方面との連携も見据えた交流ネットワークの構築など、より地域の魅力や活力を高めるまちづくりへとつながる道路整備の推進が必要です。

地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング

____ : アンダーライン箇所は地域WGにて
委員の皆様から頂いた意見を反映

2.4 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

2. 大規模災害を考慮した 広域連携を支える道路網の構築

豪雪や地震等の大規模な災害は、市民の生活に大きな影響を及ぼすため、広域連携による避難・支援・復旧ルートの確保が急務となります。特に高島地域では、災害時の緊急輸送や救急搬送だけでなく日常交通や物流交通、観光交通についても国道161号への依存度が非常に高いため、当該道路が寸断された場合の代替路を確保し、災害時においても人・物資・情報の広域的かつ円滑な流れを構築できる災害に強い道路網の形成や整備が重要です。

____ : アンダーライン箇所は地域WGにて委員の皆様から頂いた意見を反映

地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング

2.4 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

3. 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

誰もが安全に、安心して快適に移動できる歩行空間の確保が重要です。特に、高齢者や障害者・通学児童や園児も含めた子ども・観光客に対する安全確保、冬期の積雪対策、除草なども含めた適切な維持管理といった、地域の課題を踏まえた施策の推進が必要です。

地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング

____ : アンダーライン箇所は地域WGにて
委員の皆様から頂いた意見を反映

2.4 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

4. 住民が主体となった 行政と連携・協働による道づくり

今後の道づくりには、住民の主体的な取り組みや地域の意見を計画に反映させるとともに、道路整備に関する取り組みについて広くPRしていくことも重要です。特に、道路の維持管理活動は、地域住民、行政（県・市）、警察などの交通関係機関等との連携・協働の強化が重要であり、地域の誰もが「我が道」として誇りと愛着を持てる様な道づくりの推進が必要です。

地域別アクションプログラム 高島地域ワーキング

____ : アンダーライン箇所は地域WGにて
委員の皆様から頂いた意見を反映

3. 「地域の重点項目」のとりまとめ

3.1 「地域の重点項目」(案)

第2回ワーキング提示済み(案)

アクションプログラム2023	
「地域の重点項目」(案)	備考
高島地域内外の移動を円滑化する道路網整備	・大津方面や福井方面との連携強化に資する道路整備
緊急輸送道路の整備	・緊急輸送道路の機能強化
地域にとって唯一の道路整備	・代替路のない路線における機能強化
集落間連携を支援する道路整備	・集落間の歩行空間の安全確保

3.2 「地域の重点項目」(案)へのご意見

「地域の重点項目」(案)	備考
高島地域内外への移動を円滑化する道路網整備	・大津方面や福井方面との連携強化に資する道路整備

- ・ (地域の活力を高めるため) 北陸地方と接続する道路が必要。
- ・ 小松地域で渋滞が発生。そこを通らないと出られない状況があるので、(地域内の幹線道路を補完する) 道路が必要。

「地域の重点項目」(案)	備考
緊急輸送道路の整備	・緊急輸送道路の機能強化

- ・ 南方面には国道161号のみ。高島市で災害が発生すると、国道161号に集中し、大渋滞で避難への支障が懸念。国道161号以外の道路整備が必要。
- ・ 緊急時の救急搬送は高島市民病院に集中、緊急車両が円滑に通れる道路が必要。
- ・ 緊急輸送道路の確保が一番大事。県と市の連携もお願いしたい。

3.2 「地域の重点項目」(案)へのご意見

「地域の重点項目」(案)	備考
地域にとって唯一の道路整備	・代替路のない路線における機能強化

- ・南方面には国道161号のみ。高島市で災害が発生すると、国道161号に集中し、大渋滞で避難への支障が懸念。国道161号以外の道路整備が必要

「地域の重点項目」(案)	備考
集落間連携を支援する道路整備	・集落間の歩行空間の安全確保

- ・湖周道路で草が繁茂して見えづらく危険。適切な維持管理による歩道確保が必要
- ・冬季の通学路の歩道への除雪が課題

3.3 「地域の重点項目」 とりまとめ結果

第2回ワーキングのご意見を踏まえたとりまとめ結果

アクションプログラム2023	
「地域の重点項目」(案)	備考
高島地域内外への移動を円滑化する道路網整備	<ul style="list-style-type: none">・大津方面や福井方面との連携強化に資する道路整備・地域内の幹線道路間を補完する道路整備
緊急輸送道路の整備	<ul style="list-style-type: none">・緊急輸送道路の機能強化
地域にとって唯一の道路整備	<ul style="list-style-type: none">・代替路のない路線における機能強化
集落間連携を支援する道路整備	<ul style="list-style-type: none">・集落間の歩行空間の安全確保・中山間部における連携強化に資する道路整備

3.4 「地域の声」と「地域の重点項目」の関係

第2回ワーキングのご意見を踏まえたとりまとめ結果

「地域の声」(案)と「地域の重点項目」(案)との対応

「地域の声」(案)	「地域の重点項目」(案)
地域の魅力や活力を高めるための道づくり	・高島地域内外への移動を円滑化する道路網整備
大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築	・緊急輸送道路の整備 ・地域にとって唯一の道路整備
安全・安心で魅力的な歩行空間の確保	・集落間連携を支援する道路整備
住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり	—

4. 地域の課題を解決する事業中箇所

4.1 地域の課題を解決する事業中箇所

(地域の重点項目)

1. 高島地域内外の移動を円滑化する道路網整備

重点項目1.による
加点事業

国道303号 (追分A工区)



現在の状況



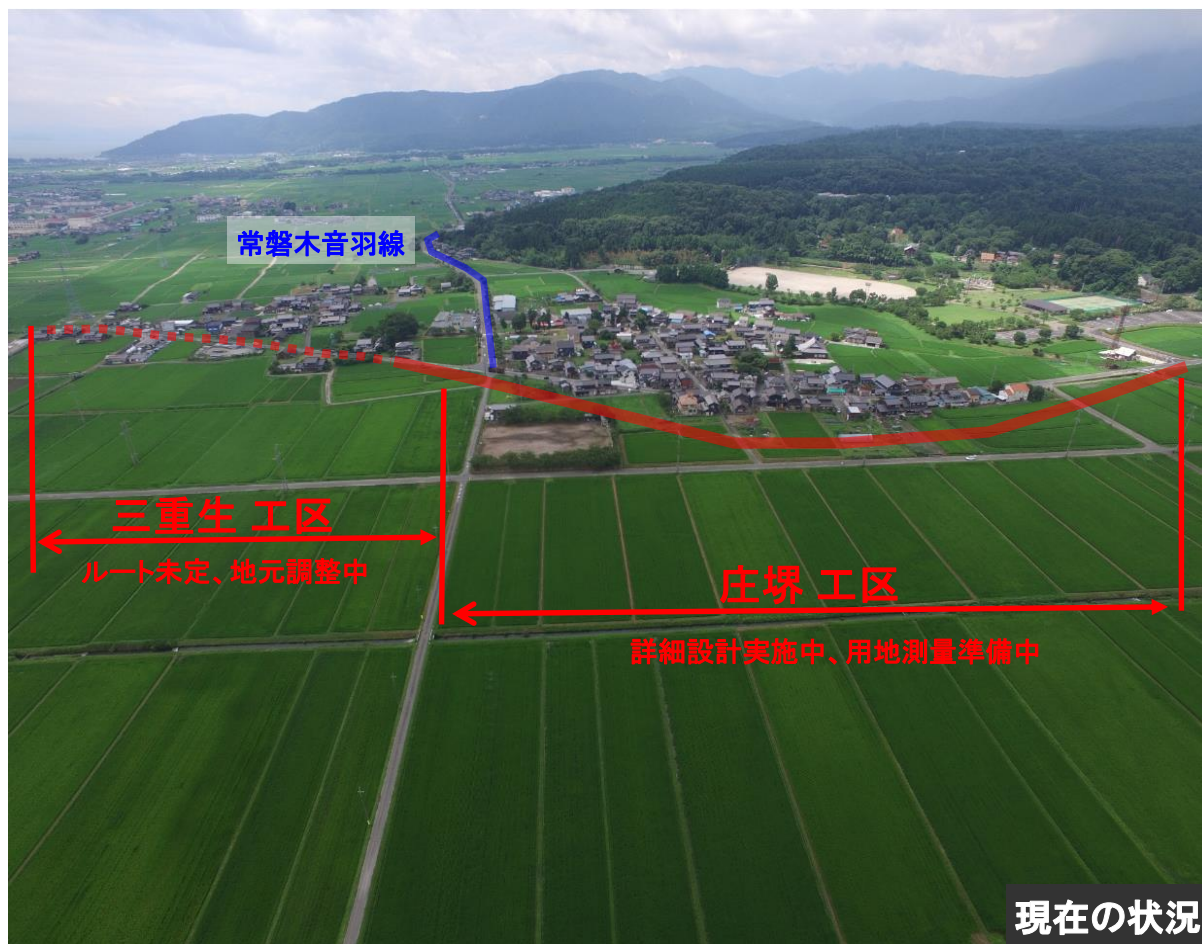
- 曲線の緩和、
および堆雪帯の設置
- 延長: 4.1km中
3.0km改良済
残事業を継続予定

4.1 地域の課題を解決する事業中箇所

(地域の重点項目)

1. 高島地域内外の移動を円滑化する道路網整備

小浜朽木高島線（三重生工区、庄塚工区）



重点項目1.による
加点事業



- 三重生工区
ルート未定、地元調整中
- 庄塚工区
詳細設計実施中、用地測量準備中

4.1 地域の課題を解決する事業中箇所

(地域の重点項目)

2. 緊急輸送道路の整備

国道367号 (桑野橋)

重点項目2.による
加点事業

- 橋梁架替事業
- 測量と予備設計、用地測量を実施中



現在の状況



4.1 地域の課題を解決する事業中箇所

(地域の重点項目)

3. 地域にとって唯一の道路整備

麻生古屋梅ノ木線

重点項目3.による
加点事業

●見通し確保のための現道拡幅事業

●計画延長: 1.42km



現在の状況



Google

5. まとめ

5.1 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

高島地域は、北は北陸、福井嶺南地域、南は大津地域と結ばれる交通の要衝です。

また、白鬚神社やメタセコイア並木道などの文化・自然資源も多く点在し、観光エリアとして賑わいを見せています。

近年では、「一般県道五番領安井川線」の新常安橋が開通（令和3年4月）したほか、今後も「国道161号小松拡幅」の大津市北小松地区が令和7年度に供用予定、また「国道161号安曇川立体」についても早期供用に向けて事業が進められているなど、道路を取り巻く環境にも変化がみられています。

しかし、幹線道路は山間部などの狭隘な区間を通過している区間も多く、災害時に代替路線として機能する道路網が確保できていない状態です。そのため、災害により通行規制が発生した場合、地域自体の孤立化や集落の孤立化が懸念されるなど、避難・支援・復旧ルートの確保が大きな課題の一つとなっています。

また、人口減少と高齢化が急速に進んでいる本地域においては、道路整備の推進により更なる観光・交流人口の拡大や若者の定住促進といった地域活性化の推進が必要です。さらに、高齢者や障害者、子ども、観光客に配慮した安心して移動できる歩行空間の確保、豪雪地帯であるという地域特性を踏まえた冬期の安全確保、適切で無駄のない計画的な道路の維持管理が必要です。

今回のアクションプログラムの見直しにあたり、令和4年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目の「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

5.1 「地域の声」 とりまとめ結果

高島地域アクションプログラム 地域の声

1. 地域の魅力や活力を高めるための道づくり

地域の交流人口の拡大を促し、観光振興の推進、経済活動の活性化、若者の定住等を促す道路整備の積極的な取り組みが重要です。具体的には、限られた路線に集中する交通の渋滞対策や、生活交通と通過交通の分離、福井方面との連携も見据えた交流ネットワークの構築など、より地域の魅力や活力を高めるまちづくりへとつながる道路整備の推進が必要です。

2. 大規模災害を考慮した広域連携を支える道路網の構築

豪雪や地震等の大規模な災害は、市民の生活に大きな影響を及ぼすため、広域連携による避難・支援・復旧ルートの確保が急務となります。特に高島地域では、災害時の緊急輸送や救急搬送だけでなく日常交通や物流交通、観光交通についても国道161号への依存度が非常に高いため、当該道路が寸断された場合の代替路を確保し、災害時においても人・物資・情報の広域的かつ円滑な流れを構築できる災害に強い道路網の形成や整備が重要です。

3. 安全・安心で魅力的な歩行空間の確保

誰もが安全に、安心して快適に移動できる歩行空間の確保が重要です。特に、高齢者や障害者・通学児童や園児も含めた子ども・観光客に対する安全確保、冬期の積雪対策、除草なども含めた適切な維持管理といった、地域の課題を踏まえた施策の推進が必要です。

4. 住民が主体となった行政と連携・協働による道づくり

今後の道づくりには、住民の主体的な取り組みや地域の意見を計画に反映させるとともに、道路整備に関する取り組みについて広くPRしていくことも重要です。特に、道路の維持管理活動は、地域住民、行政（県・市）、警察などの交通関係機関等との連携・協働の強化が重要であり、地域の誰もが「我が道」として誇りと愛着を持てる様な道づくりの推進が必要です。

5.2 「地域の重点項目」 とりまとめ結果

第2回ワーキングのご意見を踏まえたとりまとめ結果

アクションプログラム2023	
「地域の重点項目」(案)	備考
高島地域内外の移動を円滑化する道路網整備	・大津方面や福井方面との連携強化に資する道路整備
緊急輸送道路の整備	・緊急輸送道路の機能強化
地域にとって唯一の道路整備	・代替路のない路線における機能強化
集落間連携を支援する道路整備	・集落間の歩行空間の安全確保

6. 次回の地域ワーキング

6.1 第4回地域ワーキングの予定

○日時: 令和4年●月●日(●)

●:00~●:00

○場所: 高島合同庁舎2階 2-A会議室